

2016年 7月 吉日

各 保健福祉主管部長 様  
各 生活保護主管課長 様  
各 福祉関係課長 様  
各 福祉事務所長 様

全国公的扶助研究会 会長 吉永 純  
第49回公的扶助研究全国セミナー実行委員会  
実行委員長 梅塚 繁行

#### 第49回公的扶助研究全国セミナーの開催について(お願い)

貴職におかれましては、住民福祉の向上のために日々ご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

さて、このたび私たちは、別添「開催要綱」のとおり、来る9月9日から11日までの3日間、ロームシアター京都・花園大学において第49回公的扶助研究全国セミナーを開催させていただくこととなりました。

このセミナーは、1963年に開催された「公的扶助セミナー」に始まり、約半世紀にわたって回を重ね、今年で49回目を迎えますが、その最大の特徴は、一貫して現場職員による自主的な企画運営を貫き、真摯に仕事のあり方を考えてきたことです。そしてその中で私たちは、制度利用者の生存権を尊重することの大切さを共通認識として確認し、それがこのセミナーの基調になっています。

近年、生活保護基準の大幅な引き下げが実施され、2014年7月から『改正』生活保護法が全面施行されています。さらに2015年度からは生活困窮者自立支援法がスタートしました。一方、多くの方が貧困に苦しんでいる状況は変わっていません。

今回のセミナーで私たちは、このような問題状況をふまえ、「そうや、京都へ行こっ！歴史にふれ、なかまと共に、未来をつむぐ」というテーマを掲げました。

企画内容の詳細につきましては、別添の開催要綱のとおりですが、多くの研究者の方々からのご協力もあって、第一線の講師や助言者を豊富に配置し、時宜にかなった意欲的で多彩な企画になっているのではないかと自負しているところです。

「公的扶助研究全国セミナー」という名称が示しているように、具体的な企画の内容は生活保護のウエイトが高いのですが、今日時点でも福祉事務所には福祉六法の実施機関としての役割があること、生活保護制度利用者が抱えている生活上の諸困難は極めて多様であることをふまえ、3日間の企画を通して、子どもの貧困の問題や、高齢者、障がい者に対する保健福祉サービスのあり方、関係機関相互の連携のあり方などもとりあげており、これらの各分野の仕事に従事しておられる方にも参加していただきたいと考えています。

つきましては、生活保護をはじめとする各福祉分野の職員の方々に多数、参加していただきたく、本セミナーの開催について広く周知くださいますとともに、貴所属の職員の皆様の参加について御配慮くださいますよう心からお願い申し上げます。

#### 【お問い合わせ先】

〒114-0023 東京都北区滝野川6-76-9 エスポワール・オチアイ1階  
マック・ファミリーエイド方

全国公的扶助研究会 事務局

FAX : 050-3730-2116

e-mail : zennoku\_koufukenn@yahoo.co.jp



「就労支援の基礎」を、事例から考える  
— 生活保護行政とケースワーク —



生活保護行政における「就労支援」をどのように考え、  
ケースワーカーはどのような姿勢が必要なのかを、  
事例に基づき学習します。  
日頃の、就労支援等の悩みも、参加者で交流しましょう。  
みなさんの参加をお待ちしています。



日時 2016年8月6日(土) 13:30~16:30  
受付 13:15 ~

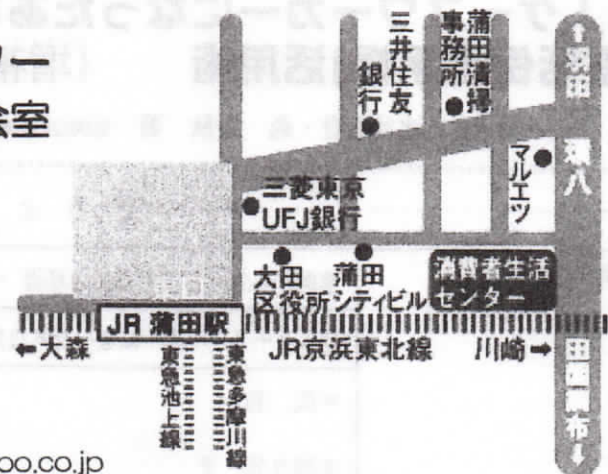
講師 池谷 秀登 氏 (帝京平成大学) 他

参加費 500円 (当日徴収) ※全国公的扶助研究会会員は無料。  
※事前申し込みは必要ありません。

会場  
大田区消費者生活センター  
2階 大集会室

東京都大田区蒲田5-13-26-101

●JR京浜東北線 ●東急池上・多摩川線  
「蒲田駅」東口より徒歩5分



◆主催・お問い合わせ

全国公的扶助研究会

E-mail zennkoku\_koufukenn@yahoo.co.jp

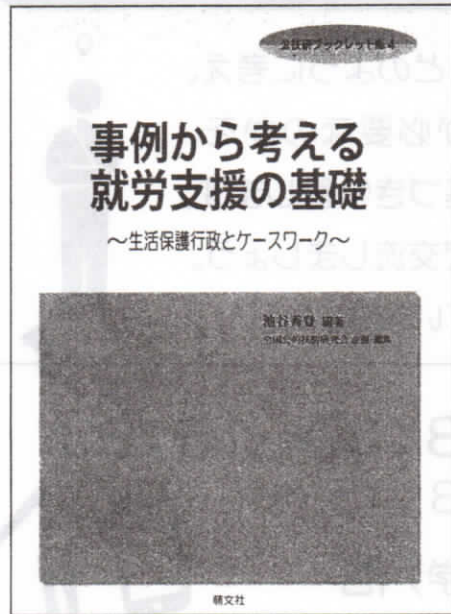
F A X 050-3730-2116

東京都北区滝野川6-76-9 エスポワールオチアイ1階 マック・ファミリーエイド方

http://kofuken.main.jp/

▼▼▼ **待望の最新刊 7月発売!!** ▼▼▼

公扶研ブックレット No. 4  
**事例から考える就労支援の基礎**  
 ～生活保護行政とケースワーク～  
 池谷秀登 編著 全国公的扶助研究会 企画・編集



本ブックレットでは、就労支援と保護要件である稼働能力の活用をどのように整理するのかを踏まえて、生活保護行政における就労支援をどのように考え、ケースワーカーはどのような姿勢が必要なのかを事例に基づき検討をしています。さらにケースワーカーを支えるための就労支援システムを構築するための考え方についても検討を行いました。  
 (まえがきより)

- 第1章 生活保護行政における就労支援とは
- 第2章 「働くこと」を支援するために大切なケースワーカーの視点
- 第3章 就労支援で学んだケースワーカーとして大切なこと
- 第4章 就労支援システムの構築と自立概念の具体化

A5判・並製・80頁  
 定価:本体 800円+消費税 (送料1冊につき別途 80円)

公扶研ブックレット No. 1 **大好評発売中!!**  
**新人ケースワーカーになったあなたへ&「生活保護手帳」活用術** (増補改訂版)  
 池谷秀登・森 宣秋 著 全国公的扶助研究会 企画・編集



A5判・並製・80頁  
 定価: 本体750円+消費税 (送料別途)

きりとり

注文書	取り扱い	事例から考える就労支援の基礎 ～生活保護行政とケースワーク～	定価:本体800円+税	冊
		新人ケースワーカーになったあなたへ&「生活保護手帳」活用術	定価:本体750円+税	冊
		*氏名	*TEL	
		*送り先 〒		
		ほうぶんしゃ 萌文社 東京都千代田区富士見 1-25-32-202 TEL 03-3221-9008 FAX 03-3221-1038 Eメール: info@hobunsha.com URL http://www.hobunsha.com		